

医師体験ワークショップ 2015

医師が楽しく指導！未来の患者さんを救え！

医師体験ワークショップ

日時：11月3日（火・祝）13時～16時30分
場所：市立長浜病院 講堂（長浜市大塚町113）

定員20人
参加無料
（11月1日現在）

現役医学生や若い先生から
勉強のコツや受験の話が聞けるかも！



対象：中学2年生～高校2年生
（長浜市立病院がある方から
将来医師になりたいと考えている方まで）

内容：疑似的な問診・手術体験や、医師
との意見交換会を行います。
※手術：結腸吻合（おへひのようなの）や輸尿管下での
瘻子挿入など
※結核菌感染（一次感染と二次感染）
（手術の後の一部）

申込方法：10月20日（火）までに裏面の申込用紙にてFAXでお申
込ください。
※応募者多数のときは抽選になります。ご参加いただく方のみ文書にて連絡します。

主催：湖北医師会 共催：湖北の医療を考える自主的研究会
協力：市立長浜病院、長浜赤十字病院

医師体験ワークショップとは
医師の体験を通して、若い皆さんが医
療や医療の仕事を目指すきっかけにな
り、将来、湖北の病院や地域の医療を
一層にしたいと思えるようなワーク
ショップを目指しています。
※経験したことのない医療体験ができ
ます。

お申し込み・お問い合わせ 湖北医師会

申込先
FAX 0749-65-2758
TEL 0749-65-3600
(平日9:00~17:00)

申込方法
下記項目に記入の上、FAXでお申込ください。
※お申込には知照書や同意書が必要で
す。※応募者多数の場合は抽選となります。
※ご参加いただく方のみ文書にて連絡します。

お申込締切：10月20日（火）

フリガナ お名前	年齢	住所	電話番号	学校名 (学年)

保護者の同意署名

本人情報（年齢）について
提供しない場合、個人情報は、医師体験ワークショップの運営・進行のためのみ使用させて
いただきます。

開催日時 平成27年11月3日（火祝）午後1時～4時30分

開催場所 市立長浜病院 2階講堂

協力 市立長浜病院・長浜赤十字病院・滋賀医科大学医学生

湖北の医療を考える自主的研究会

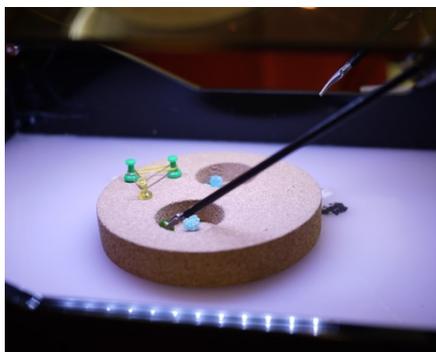
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

項目 （腹腔鏡、切開・縫合、救急蘇生法、問診体験）

対象者 中学2年生～高校2年生

参加者 23名（募集20名）（うち26年度参加者4名）

（中学2年生14名、中学3年生3名、高校1年生4名、高校2年生2名）



中高生手術に挑戦

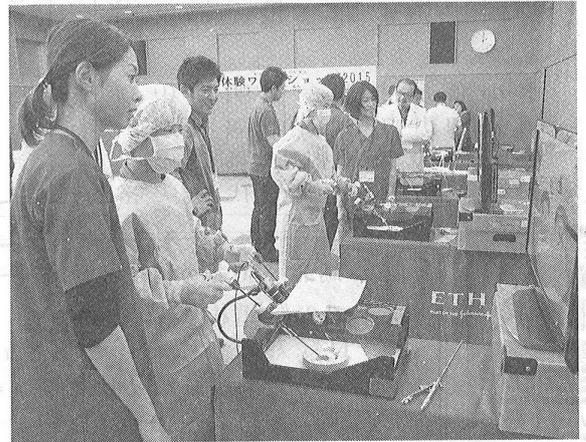
長浜病院で4種類の医師体験

湖北医師会(手操忠善会長)主催の医師体験ワークショップが3日、市立長浜病院で開かれ、中学・高校生23人が参加。模擬手術や患者への病告告知などを体験した。

地方での医療人材不足解消のため、地元の方々に関心を持ってもらおうと、医師会が湖北地域の中学2年生から高校2年生に参加を呼びかけた。

参加者は4グループに分かれ、内視鏡を使った手術、皮膚の切開・縫合、AEDや心臓マッサイジによる心肺蘇生、診察結果の告知の計4種類の医療業務に挑戦し、長浜病院や長浜赤十字病院の医師、看護師、米原市役所の自主研究会、滋賀医科大学50人余りがサポートした。

切開・縫合体験では、摩擦熱で皮膚の切開と血管閉鎖が同時に行える超音波メスでの鶏肉の切開



内視鏡手術を模擬体験する参加者

人工皮膚に針を通す縫合に挑戦し、医師の手ほどきで医療器具の使い方を覚えていた。診察結果を患者に伝える面談体験では参加者が

医師となって盲腸を告知。切除手術に躊躇する患者に大きな傷が残らない手術方法を説明するなど、患者の要望に応じた提案を行っていた。

長浜南中2年の松本萌愛さんは「大好きなおじいちゃん、おばあちゃんに病気になるように助けてあげられるように、将来は医者になりたい」と語り、浅井中2年の押谷佑哉君は「内視鏡を見ながら針を通す作業が難しかった。おじいちゃんに医者をやっている、あとを継ぎたい」と話していた。

(平成27年11月4日付 滋賀夕刊新聞)

医療に興味のある生徒募集

湖北医師会、11月に手術体験など

10/8 滋賀

今年も定員20人で募集し、申し込みが定員を上回った場合は抽選する。申し込みは20日まで医師会(65)3600へ。

湖北医師会は11月3日午後1時から市立長浜病院で医師体験ワークショップを開く。

2年生から高校2年生を対象に、問診や手術体験、医師との意見交換などがある。長浜病院、長浜赤十字病院の若手医師、看護

医療に興味のある中学

師、滋賀医科大学の学生が協力する。

(平成27年10月8日付 滋賀夕刊新聞)

生徒が手術や救急救命

長浜病院 医療体験の講習会

中高生が医療の世界に触れるワークショップが3日、長浜市立長浜病院であった。長浜、米原市などの生徒23人が参加し、医師や看護師らに教わりながら、外科手術や救急救命、診察の面談を体験した。

開腹と縫合のブースでは、電気メスで鳥肉に触れるワークショップが三日、長浜市立長浜病院であった。長浜、米原市などの生徒23人が参加し、医師や看護師らに教わりながら、外科手術や救急救命、診察の面談を体験した。

米原市双葉中二年の北沢智也君(みは)は「難しかったけど、人の命を救う、やりがいのある仕事だと関心がいいた」と話していた。(鈴木智重)



医師らに教わりながら縫合を体験する生徒たち＝市立長浜病院で

(平成27年11月4日付 中日新聞)

中高生ら「手術」体験

長浜病院でワークショップ

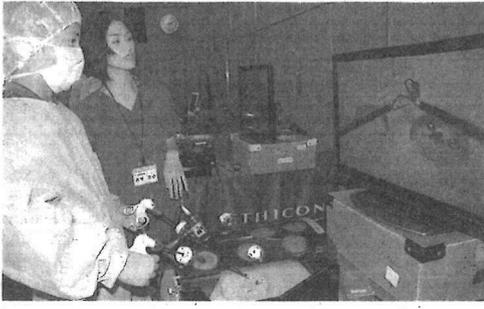
長浜市立長浜病院（大成亥町）で、中学高校生24人が医師の仕事を経験するワークショップがあった。

生徒たちは6人ずつ4班に分かれ、内視鏡手術、切開・縫合、心肺蘇生、診断結果の告知の模擬体験をした。内視鏡手術の模擬体験をした長浜市立北中学校2年の千田健太郎君（13）は「手術道具でビーズをつま

んだり、受け渡したりするのが難しかったが、楽しかった」と話した。

ワークショップは、米原市職員の有志でつくる「湖北の医療を考える自主的研究会」が2年前に始め、昨年から湖北医師会との共催となった。医師会の

手操忠善会長は「この中から医学部に進学し、湖北の地で医師になろうと思う人が出てくれれば」と話した。



内視鏡手術の模擬体験をする生徒＝長浜市大成亥町の市立長浜病院

（平成27年11月11日付 朝日新聞）